



宮代町

地球温暖化対策実行計画 (区域施策編)



撮影場所／新しい村・山崎山の雑木林

本計画は、(一社)地域循環共生社会連携協会から交付された 環境省補助事業 である「令和5年度(補正予算)二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(地域脱炭素に向けた再エネの最大限導入のための計画づくり支援事業)」を活用し作成されました。

令和7年3月 宮代町

ごあいさつ

宮代町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定にあたり、ひとことごあいさつ申し上げます。

私たちが今、身をもって感じている気候変動による地球規模の変化は、日を迫うごとに深刻さを増し、様々な場面で、私たちの日常を脅かしはじめています。その一方で、私たちは、この事態をどこか他人事のように受け止めてしまっているように思います。

ただ、この現実から目を背けていても、私たちの未来が明るく開けることは決してありません。私たちが、私たちの手で、より良い地域と地球の未来をつくっていくため、今、起こすべき変化は何なのかを考え、行動する時がきています。それを具体化し、共有し、町ぐるみで実現していくために、この計画はつくられました。

この計画づくりにあたっては、宮代町における温暖化対策を検討、推進していく組織として、町内の企業や団体が参画した「宮代町ゼロカーボン推進協議会」を設立しました。そして、気候変動に対応しながら町を良くしていくためには、私たちは何をすればよいのか、何ができるのか。話し合いを重ね、町がめざす将来像に「みんなで創る みんな輝く 脱炭素のまち 宮代」を掲げて、町民、事業者、行政の役割と行動を整理し、計画にまとめました。

この計画で取り組む地球温暖化対策は、単にカーボンニュートラルを実現させるためだけのものではありません。地域に新しい価値やサービスを生み出し、経済を循環させていくとともに、地域課題の解決と生活の質の向上をもたらすことも、目指しています。この計画がその道しるべとして、一人でも多くの皆様の共感と行動につながり、明るく輝く町の未来が開かれるよう、力を入れて参ります。

結びに、計画の策定にあたり、検討会議や原案づくりなどにご協力いただいた宮代町ゼロカーボン推進協議会の皆様をはじめ、専門的なアドバイスをいただいた日本工業大学の皆様、国立研究開発法人産業技術総合研究所の皆様、アンケートにご協力いただいた事業者や町民の皆様に感謝を申し上げ、あいさつといたします。

令和7年3月

宮代町長

新井康之



目次

第1章 計画策定の背景

1-1	気候変動の影響.....	01
1-2	地球温暖化対策を巡る国内外の動向	02
1-3	宮代町の取組	05

第2章 計画の基本的事項

2-1	計画の位置づけ	07
2-2	計画期間	08
2-3	計画の対象	08

第3章 宮代町の地域特性

3-1	地域の概況	10
3-2	土地利用状況	11
3-3	人口	12
3-4	気象状況	13
3-5	産業	16
3-6	交通	18
3-7	廃棄物処理状況	21
3-8	再生可能エネルギー導入状況と導入ポテンシャル.....	22
3-9	地球温暖化に関する意識(町民、事業者意識調査結果)	28

第4章 温室効果ガス排出量の現況把握と将来推計

4-1	温室効果ガス排出量の現況把握.....	30
4-2	温室効果ガス排出量の将来推計.....	31
4-3	宮代町における脱炭素シナリオ	35



第5章 将来像と計画の目標

5-1	将来像と計画の目標	37
5-2	地域課題同時解決の考え方	38
5-3	温室効果ガス削減目標	40
5-4	再生可能エネルギー導入目標	41

第6章 目標達成に向けた施策

6-1	施策の体系図	42
6-2	施策の推進	43

第7章 計画の推進体制・進捗管理

7-1	推進体制	65
7-2	計画の進捗管理	66

資料編

全体共通資料	・宮代町ゼロカーボン推進協議会	67
第3章関連	・再生可能エネルギー導入ポテンシャルの算定方法	70
	・地球温暖化に関する意識（町民・事業者意識調査結果）	70
第4章関連	・温室効果ガス排出量の算定方法	84
第6章関連	・環境配慮型商品の普及促進	86
用語集		87

【本計画の図表について】

- ・各図表においては、端数処理の関係で合計が合わない箇所があります。
- ・脚注は「※」で示しています。